

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年7月16日(2009.7.16)

【公開番号】特開2007-318643(P2007-318643A)

【公開日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2007-047

【出願番号】特願2006-148342(P2006-148342)

【国際特許分類】

H 04 N 1/46 (2006.01)

H 04 N 1/60 (2006.01)

G 06 T 1/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/46 Z

H 04 N 1/40 D

G 06 T 1/00 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月29日(2009.5.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カラープリンタに装着されている色材の情報を取得する色材情報取得手段と；

入力データの色空間特性を設定する入力色空間特性設定手段と；

プリンタの出力色空間特性を設定する出力色空間特性設定手段と；

上記入力色空間特性設定手段と上記出力色空間特性設定手段との設定状態に基づいて、色変換用のカラープロファイルを選択するカラープロファイル選択手段と；

上記カラープロファイル選択手段が選択したカラープロファイルによって色変換を行う色変換手段と；

を有し、上記入力色空間特性設定手段は、入力色空間特性をオペレータが選択的に指定するためのユーザインタフェースを具備し、上記色材情報取得手段が取得した色材の情報に基づいて決定された入力色空間特性の一部の項目が選択されないように、上記ユーザインタフェースを制御する手段であることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

請求項1において、

上記色材情報取得手段は、プリンタの色再現範囲を拡大するための特色色材の装着状態を取得する手段であり、

上記入力色空間特性設定手段は、上記色材情報取得手段による取得結果が、特色色材非装着を表す場合には、色域の広い入力色空間特性が選択されないように上記ユーザインタフェースを制御する手段であることを特徴とする画像処理装置。

【請求項3】

カラープリンタに装着されている色材の情報を取得する色材情報取得手段と；

入力データの色空間特性を設定する入力色空間特性設定手段と；

プリンタの色空間特性を設定する出力色空間特性設定手段と；

上記入力色空間特性設定手段と上記出力色空間特性設定手段との設定状態に基づいて、色変換用のカラープロファイルを選択するカラープロファイル選択手段と；

上記カラープロファイル選択手段によって選択されたカラープロファイルによって色変換を行う色変換手段と；

を有し、上記入力色空間特性設定手段は、オペレータが上記入力色空間特性を選択的に指定するためのユーザインタフェースを具備し、上記色材情報取得手段が取得した色材情報に基づいて決定した入力色空間特性の一部の項目を選択した場合に、警告を発するよう上記ユーザインタフェースを制御することを特徴とする画像処理装置。

#### 【請求項 4】

請求項 3において、

上記色材情報取得手段は、プリンタの色再現範囲を拡大するための特色色材の装着状態を取得する手段であり、

上記入力色空間特性設定手段は、上記色材情報取得手段による取得結果が、特色色材非装着を表す場合には、色域の広い入力色空間特性を選択した場合に警告を発するよう上記ユーザインタフェースを制御することを特徴とする画像処理装置。

#### 【請求項 5】

カラープリンタに装着されている色材の情報を取得する色材情報取得工程と；

入力データの色空間特性を設定する入力色空間特性設定工程と；

プリンタの色空間特性を設定する出力色空間特性設定工程と；

上記入力色空間特性設定工程と上記出力色空間特性設定工程との設定状態に基づいて、色変換用のカラープロファイルを選択するカラープロファイル選択工程と；

上記カラープロファイル選択工程で選択されたカラープロファイルによって色変換を行う色変換工程と；

を有し、上記入力色空間特性設定工程は、ユーザインタフェースを用いてオペレータが、入力色空間特性を選択的に指定する工程であり、上記入力色空間特性設定工程において上記ユーザインタフェースは、上記色材情報取得工程で取得された色材情報に基づいて決定された入力色空間特性の一部の項目を選択できないように制御されることを特徴とする画像処理方法。

#### 【請求項 6】

請求項 5において、

上記色材情報取得工程は、上記プリンタの色再現範囲を拡大する特色色材の装着状態を取得する工程であり、

上記入力色空間特性設定工程は、上記色材情報取得工程での取得結果が特色色材非装着を表す場合に、色域の広い入力色空間特性を選択できないように、上記ユーザインタフェースが制御されることを特徴とする画像処理方法。

#### 【請求項 7】

カラープリンタに装着されている色材の情報を取得する色材情報取得工程と；

入力データの色空間特性を設定する入力色空間特性設定工程と；

プリンタの色空間特性を設定する出力色空間特性設定工程と；

上記入力色空間特性設定工程と上記出力色空間特性設定工程との設定状態に基づいて、色変換用のカラープロファイルを選択するカラープロファイル選択工程と；

上記カラープロファイル選択工程で選択されたカラープロファイルによって色変換を行う色変換工程と；

を有し、上記入力色空間特性設定工程は、オペレータがユーザインタフェースを用いて入力色空間特性を選択的に指定する工程を具備し、同工程において上記ユーザインタフェースは、少なくとも上記色材情報取得工程で取得された色材情報に基づいて決定した入力色空間特性の一部の項目を選択した場合に、警告を発するよう制御することを特徴とする画像処理方法。

#### 【請求項 8】

請求項 7において、

上記色材情報取得工程は、プリンタの色再現範囲を拡大するための特色色材の装着状態を取得する工程であり、上記入力色空間特性設定工程では、上記ユーザインタフェースは

、上記色材情報取得工程での取得結果が特色色材非装着を表す場合、色域の広い入力色空間特性を選択すると、警告を発するように制御されることを特徴とする画像処理方法。

【請求項 9】

請求項 5 ~ 請求項 8 のいずれか 1 項に記載されている工程を、コンピュータ制御プログラムとして記憶している記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0073

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0073】

全ての選択項目に対して、設定可 / 不可の状態の設定を終えると、S21において、未設定の選択項目はないと判断し、選択項目制御の動作を終了する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0098

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0098】

また、出力プロファイル保持部 54に記憶されている出力プロファイルは、RIP52とともにホストコンピュータ 50 に予めインストールされている。ユーザが所望するプロファイルを、ユーザが、出力プロファイル保持部 54 に配置するようにしてもよい。